

会 議 録		令和 5 年10月11日作成	令和 9 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府南丹警察署協議会（令和 5 年度第 2 回）		
開催日	令和 5 年10月 4 日（水曜日）		
時 間	午後 3 時から午後 4 時30分までの間（90分）		
場 所	京都府南丹警察署 講堂・署庭		
出席者	橋本会長、高御堂副会長、山下委員、塩内委員、山内委員、森（雅）委員、春田委員、廣瀬委員 （欠席 森（基）委員） 計 8 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長、警備課員（3人） 計13人		
諮 問 事 項	警備警察について		
会 議 内 容	1 署長挨拶	司会	副署長
	2 会長挨拶		
	3 協議	司会	会長
	(1) 諮問事項説明 警備警察について～警備課長 (高性能救助車〔ウニモグ〕、災害用装備資機材、新型プロテクターの視察体験)		
	【委員】警備訓練の実施状況はどのようなものか。		
	【警察】月 1 回、京都市伏見区内に所在する京都府警察学校において、警察本部機動隊等との合同警備訓練を実施しているほか、警察署においても、防災の日等において災害用装備資機材の習熟訓練等を実施している。		
	【委員】京丹波町として、南丹署と連携して防災パトロール等を実施しており、今後とも連携の強化をお願いする。 サイバーテロ対策について説明を受けたが、南丹署管内においてサイバーテロは発生しているのか。		
	【警察】これまで、南丹署管内においてサイバーテロは認知していないが、		

会 議  
内 容

今年3月には大阪府内に所在する総合医療センターのシステムがサイバー攻撃を受けて、診療が長期間停止する被害が発生したことがマスコミ報道されていた。今後、サイバーテロが増加する可能性が高いことから、官民一体となってウイルス対策に関する技術力の向上を推進する必要がある。

【委員】新型コロナウイルス感染症が落ち着き、南丹署管内にも来日外国人の来訪者が増加しているほか、旅行会社等からの事前問い合わせも増加している。来日外国人に対応する場合はどのような点に注意すればよいか。

【警察】国によって生活様式や慣習が違うことを良く理解して対応することが無用な紛議を防止する第一歩となる。また、マスコミ報道されているとおり、来日外国人の中には、企業秘密を盗むことを目的に経済スパイ等として入国している者もいることを念頭に置いて、一線を引いた対応が必要な場合もある。

【委員】自然災害発生時に、住民に避難を促しても、自分の家が一番安全だと考えて、避難をしない住民が多い。高齢者ほど避難を渋る傾向にあり、命を守る行動に関して意識が低い住民が多いと感じているが、避難の重要性について、どのようにして住民に意識付けを行っていけばよいか。

また、障害のある人に対しての意識付けのためにも、その介助者への広報をお願いします。

【警察】警察としては、顔の見える警察活動の強みを活かし、巡回連絡等の機会を捉えて、「命を守る行動の大切さ、避難の大切さ」「自助、共助」等の災害に備える意識付けを図る広報に努める。

また、障害のある人が集う会などに、署員を派遣しての広報も検討する。

【委員】自然災害発生時に、南丹署と南丹市、京丹波町、消防署の間における情報集約体制はどのようになっているか。

【警察】今年8月に発生した台風7号の接近、上陸に備えて、京丹波町が立ち上げた災害対策本部に連絡要員として署員を派遣し、関係機関との情報共有を図った。南丹署管内は80%が丹波高原と呼ばれる山林地帯であり、自然災害が発生する可能性が高い状況にあるところ、南丹署には20駐在所があり、駐在所勤務員は管轄地域の実情を一番把握している署員である。各駐在所勤務員が地元消防団と連携し、管轄する地域の危険箇所を把握した上で住民への広報を行って、住民の安全安心を守る活動を行った。

【委員】自然災害発生時に南丹署の庁舎崩壊等により、警察署が機能不全に

会 議  
内 容

陥る場合に備えて、機能移転先として2箇所と協定を締結していることが分かり、安心した。

【委員】特に、自然災害対策について、様々な角度から諸準備を行っていることが分かり、心から頼もしく思う。今後とも、関係機関と連携し、平素の準備と訓練を怠らず、有事に備えていただきたい。

(2) その他

【委員】以前、店の売上げ金に、玩具と思われる10円硬貨が混じっていたことがあり、南丹署に相談すると直ぐに対応してくれて、非常に安心できた。住民からの相談等に迅速に対応することが、住民に安心感を与えて、警察活動への協力を得られることにつながることから、今後も迅速的確な対応をお願いします。

【委員】前回の会議では、本年4月1日施行の自転車ヘルメット着用努力義務化について説明を受けたが、施行から半年間が経過して、ヘルメット着用状況はどのようになっているのか。

【警察】ヘルメット着用率は徐々にではあるが上昇している。しかしながら、未だヘルメット着用について十分に認識されていない状況にあることから、管内企業と連携して住民への意識浸透を図る広報啓発物品を作成した上で、駅周辺や大型スーパーマーケット等の住民が利用する機会の多い場所での広報啓発活動を進めていく。

【委員】障害のある人に、特殊詐欺や悪質商法の被害防止方法を理解してもらうために、南丹署から提供を受けた寸劇シナリオを活用して、ボランティアによる寸劇を行う予定である。特殊詐欺や悪質商法は社会情勢に応じて刻々と手口も変化しているが、今後も最新の手口等についてタイムリーに広報をお願いしたい。

【委員】住民から、自動音声で電気料金の未払いを知らせる電話がかかってきたとの相談が複数寄せられている。これも特殊詐欺の手口の一つなのか。

【警察】NTTや水道局をかたる手口があり、詐欺の予兆事案である。相手に連絡してしまうと金融機関のATMやコンビニエンスストアに誘導され、現金を振り込ませられたり、iTunesカードを購入させられた上で電子マネーをだまし取られるように誘導されるため、相手と音声通話してしまった場合には、無視して警察に通報することが肝要である。

また、特殊詐欺の発生状況や最新の手口等を掲載したミニ広報紙、交番・駐在所速報等の各種広報媒体の戦略的かつ効果的な活用や協力団体等と連携して趣向を凝らした各種広報啓発活動を通じて、タイムリーかつ住民に訴求する情報発信を推進していく。

会議 内容	<p>【警察】 本日の各委員からの意見については、今後の警察署業務の参考とさせていただきます。今後とも忌憚のない意見をお願いします。</p> <p>4 事務連絡</p> <p>次回の南丹警察署協議会の開催日については、日程調整の上、連絡させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 第2回京都府南丹警察署協議会開催状況

